

小牧市地域公共交通協議会

平成28年4月1日設置

1. 協議会が目指す地域公共交通の姿

小牧市は、名古屋市の北方約15kmに位置し、市域面積は62.81km²、人口は149,462人(平成27年国勢調査)です。市中央部を名鉄小牧線が南北方向に縦断し、小牧駅と東西の隣接都市とを結ぶバス路線が整備されています。またこれらの路線を補完する形で、こまき巡回バス等のコミュニティバスが運行されています。

小牧市では、平成18年10月の新交通システム桃花台線の廃止やこれに伴う代替バスの運行などを踏まえ、平成23年3月に小牧市総合交通計画を策定し、小牧市が目指すべき将来像の実現に向け、中心市街地をはじめとする集約拠点の形成を支える公共交通を軸とした都市総合交通体系の確立とこれを具現化する個別の都市交通政策を施策パッケージとして示すとともに、これらの施策の実施により市民が享受できる効果を示しています。

○小牧市総合交通計画の概要

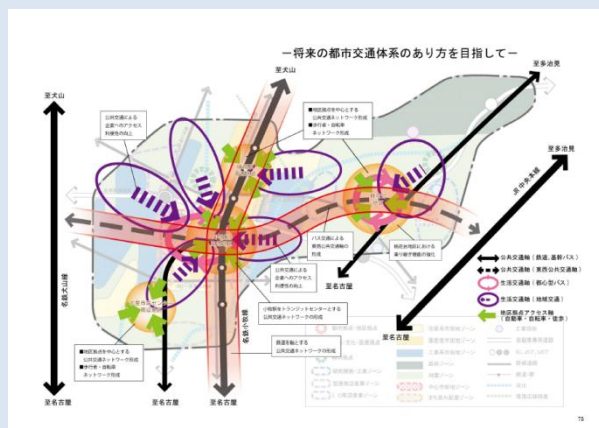
【計画期間】平成23～32年度

【都市交通体系構築の基本理念】

地域の活力を育み、
地域が支える持続可能な公共交通

【将来像】

1. 小牧市の一体化を促進し、活力あるまちづくりを支える交通体系
2. 持続可能な交通体系
3. 地域が支える交通体系



この計画に基づき、これまで中央道桃花台バス停前ロータリーの整備やデマンド交通実証実験運行、地域間幹線系統である名鉄バス間内・岩倉線への補助、小牧市のコミュニティバスであるこまき巡回バスの再編等を実施してきましたが、小牧市総合交通計画の策定後、都市計画マスタープラン中間見直しや立地適正化計画の策定を進めており、また観光振興の重要性が増していることや公共交通に対して福祉的かつ個別の要望が多く寄せられているなど、社会的動向が変化してきました。さらには、こまき巡回バスについては3年ごとに見直しを検討することとしていますが、利用状況や環境の変化等によるサービス水準の変更についての方針や指標が明確には定められていないことが問題点となっています。

このような背景を踏まえ、小牧市総合交通計画の内容をベースとしながら、まちづくり、観光振興、福祉施策と連携し、持続可能な公共交通ネットワークを形成する「小牧市地域公共交通網形成計画」の策定に向けた調査を実施する必要があります。

2. 計画の達成状況の評価に関する事項

小牧市総合交通計画では、施策実施により期待される効果を整理するとともに、PDCAのサイクルに基づき実施する施策パッケージの評価を行う上で必要となる成果目標を設定しています。この中で、個別事業の進捗状況等を確認しています。なお、個別事業については1年ごとにその進捗を確認し、パッケージにおける施策パッケージの個別事業については、その進捗を確認することとしております。

また本市では、平成27年4月に南部・中部・西部・北里地区において、平成28年4月に残る北部・東部地区において、こまき巡回バスの再編を実施してきました。この再編を実施するにあたり、よりよい公共交通へと改善を行うため、再編を行ったコースについて、「こまき巡回バスの評価・検証に係る基準」を定め、各コースの1日あたり利用者数など、利用状況に関して目標値となる評価基準を路線ごとに決めました。

なお地域間幹線系統である名鉄バス間内・岩倉線及び桃山線は、生活交通確保計画において、名鉄バス(株)が実施したOD調査に基づく直近の利用者数の実績値を目標値としています。

3. 目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組み内容

1) 地域公共交通確保維持改善事業の取組み状況

○地域特性と公共交通の現状整理

- ・上位・関連計画を整理し、「小牧市地域公共交通網形成計画」の位置づけを行いました。
- ・小牧市総合交通計画に掲げる施策の進捗状況を確認しました。
- ・人口推移・分布、主要集客施設の立地状況、観光施設の入込客数、既往調査から見た移動特性、市内公共交通（鉄道・路線バス・高速バス・コミュニティバス・タクシー）の内容等を把握しました。

○公共交通ネットワーク評価に関する全国事例の収集・分析

- ・こまき巡回バス再編時に定めた「こまき巡回バスの評価・検証に係る基準」の問題点の分析と参考となる全国事例の収集を行いました。

○各種ニーズの把握

- ・市民アンケート調査 15歳以上の市民3,000人（無作為抽出）を対象に実施しました。
- ・バス利用者ヒアリング・アンケート調査
 - *バス利用者ヒアリング調査 市内を運行するバス路線の利用者を対象に実施しました。（こまき巡回バス以外については乗降バス停のみ把握）
 - *バス利用者アンケート調査 市内を運行するバス路線の利用者を対象に実施しました。
 - *通過時刻調査 こまき巡回バスの全コース全便を対象に実施しました。
 - *バス停利用者調査 中央道桃花台バス停の利用者を対象に実施しました。
- ・企業・教育機関アンケート調査 従業員50人以上の市内262事業所と、市内及び周辺に立地する高校及び大学7校を対象に実施しました。

- ・従業員アンケート調査 企業アンケート調査を実施する事業所の中で、従業員へのアンケートを協力いただける意向を示した企業（24 事業所）を対象に実施しました。
- ・交通事業者ヒアリング 市内に路線等を持つ 6 事業者を対象に実施しました。
- ・公共交通地域懇談会 市内を 6 地区に分け、各 1 回ずつ実施しました。

○地域公共交通の課題整理

現状整理や各種ニーズ調査結果等を踏まえ、まちづくりや観光と連携した持続可能な公共交通ネットワーク形成を行う上での課題を整理しました。

○基本方針案の策定（予定）

来年度の策定に向け、「小牧市地域公共交通網形成計画」から行動計画に係る部分を除いた「小牧市地域公共交通網形成計画（基本方針案）」を作成します。

2) 協議会の開催状況、議論の内容（予定を含む）

平成 28 年 4 月 18 日	第 1 回開催	計画策定、策定スケジュールの確認
平成 28 年 8 月 2 日	第 2 回開催	プロポーザル実施結果報告、各種調査実施計画の確認
平成 28 年 11 月 9 日	第 3 回開催	策定状況・調査結果の中間報告
平成 29 年 1 月 11 日	第 4 回開催	調査結果の報告・策定状況の中間報告
平成 29 年 2 月(予定)	第 5 回開催	基本方針案について

3) 公共交通利用促進に係る取り組み状況

平成 28 年 4 月 1 日	桃花台機関紙「飛行船」にてこまき巡回バス再編の PR を実施
平成 28 年 4 月 2・3 日	こまき巡回バス再編の PR のため市内全コースにて無料運行を実施
平成 28 年 4 月 5 日	公共交通利用促進協議会が作成した公共交通マップを市ホームページに掲載
平成 28 年 7 月	北里小学校及び北里中学校の児童・生徒に名鉄バス間内・岩倉線の PR チラシを配布
平成 28 年 7 月 15 日	広報こまきにてこまき巡回バスの PR を実施
平成 28 年 7 月・8 月	味岡地区民生委員・児童委員連絡協議会（7 月 29 日）及び篠岡地区民生委員・児童委員連絡協議会（8 月 5 日）にてこまき巡回バスコース図・時刻表を配布
平成 28 年 8 月	市職員向けにグループウェアにて毎月第 1 水曜日のノーカーデーの前日に「公共交通・こまき巡回バスを利用しましょう」の案内開始
平成 28 年 9 月 15 日	小牧市敬老会にてこまき巡回バスコース図・時刻表を配布
平成 28 年 9 月 25 日	国際交流協会主催の日本語教室において公共交通利用促進協議会による外国人向けバス乗り方教室開催
平成 28 年 10 月 1 日	広報こまきにてこまき巡回バスの PR を実施
平成 28 年 10 月中旬～	こまき巡回バスの車体に児童・生徒の絵画をラッピングして運行

- 平成 28 年 10 月 14 日 中央道桃花台バス停の時刻表をダイヤ改正にあわせて改訂し、市ホームページに掲載
- 平成 28 年 10 月 16 日 小牧市民まつりにおいて公共交通利用促進協議会による啓発活動を実施（啓発品・時刻表・公共交通マップ等を配布）
- 平成 28 年 11 月 19・20 日 いきいきこまきにおいて公共交通利用促進協議会によるバス乗り方教室を実施（あわせて啓発品・時刻表・公共交通マップ等を配布）
- 平成 28 年 12 月 1 日 こまき巡回バスの乗り換え案内サービス開始（駅すばあと、駅探、ジョルダン、NAVITIME）
- 平成 29 年 1 月 1 日 桃花台機関紙「飛行船」にてこまき巡回バスの PR を実施
- 平成 29 年 1 月 22 日 小牧原地区にて出前講座「わたしたちの暮らしと公共交通」を開催(予定)

4. 具体的取組みに対する評価

- 小牧市総合交通計画に掲げる施策パッケージについて、事業の達成状況を評価したところ、概ね「事業内容のとおり実施した」または「事業内容を一部変更して実施または継続して実施中」という結果でありました。また市内交通環境の満足度については、小牧市総合交通計画策定時のアンケート結果と比べ、不満足度が減少するなど、改善が見られることなどから、小牧市総合交通計画に基づき実施した施策には、一定の効果があつたと考えられます。
- 「こまき巡回バスの評価・検証に係る基準」に基づき、平成 28 年 4 月～11 月における、こまき巡回バス各コースの 1 日あたり利用者数を評価基準と比較した結果、全 19 コース中 11 コースにおいて、評価基準値を上回った一方、利用者数が評価基準値の 50%に満たないコースも存在することが明らかとなりました。
- 公共交通ネットワーク評価に関する全国事例の収集・分析により、現在定めている「こまき巡回バスの評価・検証に係る基準」の問題点として、評価結果による見直し方針の設定（基準値を下回った場合等に、路線機能の変更、サービス水準の変更といった見直しの手順及び評価基準の妥当性を確認する必要性）、公共交通ネットワークとしての評価（鉄道や路線バスも含めた市内公共交通をネットワークとして捉えた場合の評価方法）といった課題が明らかになり、あわせて今後の検討の中で参考となる先進的な事例を確認することができました。
- 各種ニーズの把握により、市内の公共交通全般に対する市民や企業、学校の意向や、各バス路線の利用者の特徴・意向、中央道桃花台バス停利用者の満足度等を確認し、各公共交通機関の役割を明確化して相互連携する必要があるなどの課題を明らかにしました。また、こまき巡回バスについては、通過時刻調査により、定時性の確保にかかる課題を具体的に抽出することができました。最後に、これらの課題を以下の 4 つにまとめました。
 - ・まちづくり計画や観光振興等と連携した公共交通ネットワークを構築する必要があります。
 - ・多様化する市民ニーズ等に対応した公共交通サービスを展開する必要があります。
 - ・公共交通ネットワークとしての評価・検証及び対応方針を明確化する必要があります。
 - ・小牧市総合交通計画で示される公共交通関連の課題について、計画策定以降の取り組み状況等を踏まえ、課題解決に向けた対応を検討する必要があります。
- 地域公共交通会議においては、これまでの調査の結果を踏まえ、小牧市総合交通計画に掲げる施策の評価を行うとともに、これら調査の結果から導き出された課題等について議論を行いました。

- こまき巡回バスをはじめとする公共交通の利用促進に係る取組み等により、新たなコースやダイヤ等の周知が図られた結果、平成 28 年 4 月～11 月のこまき巡回バス利用者数は、昨年同期間と比較し、本年 4 月に再編を行ったコースは約 47%増加、昨年 4 月に再編を行ったコースは約 6%増加し、全体では約 26%増加しました。
- 名鉄バス間内・岩倉線及び桃山線は、平成 28 年 4 月～11 月の利用者数を前年同期間と比較すると、間内・岩倉線は約 8.2%の増加、桃山線は約 1.4%の減少となっています。

5. 自己評価から得られた課題と対応方針

- 今回の調査において得られた課題と、小牧市総合交通計画における課題を比較したところ、今年度策定予定の小牧市立地適正化計画との整合、名古屋への行きやすさへの配慮、市外からの来訪者に対する分かりやすい情報提供、公共交通全体としてのネットワーク評価の実施と、評価結果を踏まえた見直し方針の設定等が新たな課題として浮かび上がってきました。しかし、継続した課題も多く残っており、また小牧市総合交通計画で位置づけられる公共交通軸の形成は、地域公共交通網形成計画が目指す面的な公共交通ネットワークの再構築の方向性と合致しており、これまで実施してきた各種施策の大幅な転換を伴うものではありませんでした。
- 従って、小牧市地域公共交通網形成計画で定める基本的な方針については、小牧市総合交通計画における基本理念・将来像を継承しながら整理し、まちづくりや観光振興との連携をより明確にしつつ、新たな課題にも対応していくこととしました。(予定)
 - 【基本理念】 地域の活力と交流を育み、地域を支える持続可能な交通体系
 - 将来像 1 活力あるまちづくりを支える交通体系
 - 将来像 2 持続可能な交通体系
 - 将来像 3 地域を支える交通体系
 - 将来像 4 交流を促進する交通体系
- 計画策定事業は、当初予定したとおり進捗しており、今後は、計画策定のために実施した各種調査等や地域公共交通会議における議論の経過を踏まえ、平成 28 年度中に小牧市地域公共交通網形成計画の基本方針案を策定します。また平成 29 年度には、これに行動計画に係る部分を加え、小牧市地域公共交通網形成計画を策定します。
- なお、こまき巡回バスにおける定時性の確保にかかる課題については、計画策定を待つことなく、平成 29 年 4 月のダイヤ改正によりできる限りの解消を図ることとします。
- また、今後も様々な機会を捉えて公共交通利用促進に係る取組みを実施し、地域間幹線系統の路線についても、利用者数の増加を目指します。